

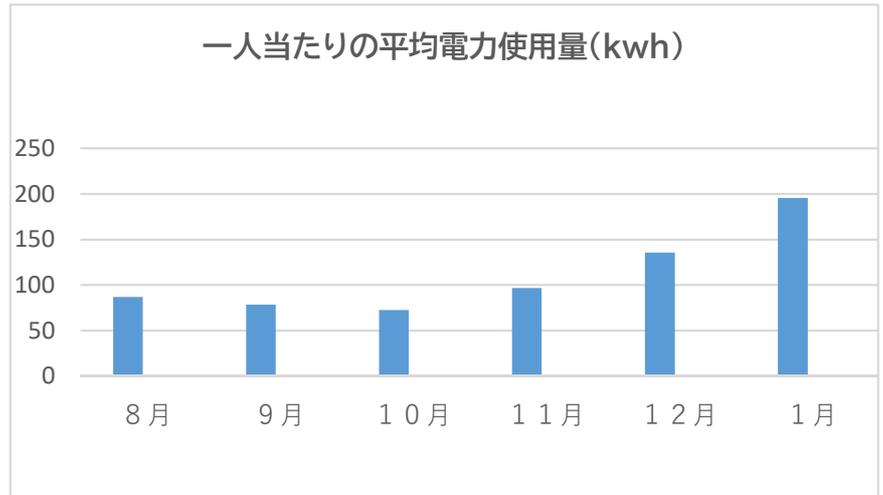
## 令和6年度「我が家の環境家計簿」分析結果

令和6年度に「我が家の環境家計簿」を利用していただいたご家庭（19件）のデータを基に、家庭で使用される電気の使用状況と二酸化炭素排出量の分析を行いました。

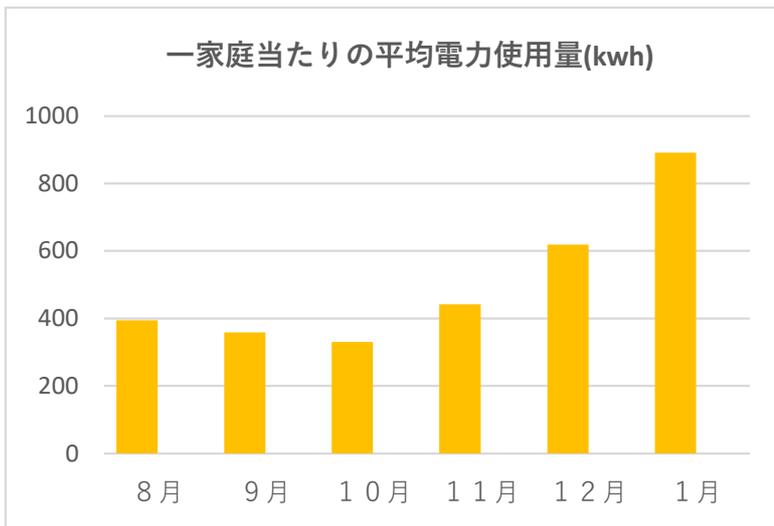
### （1）一人当たりの平均電力使用量（kwh）

使用した電力の総量を、各家庭の人数で割り、一人当たりの電力使用量を算出したものです。

傾向としては例年の結果とほぼ同じ傾向であり、夏よりも冬の電気使用量が多くなっています。8月から10月にかけては約90kwhで推移していますが、11月から1月にかけて使用量が増えており、最も使用量が少ない10月（72.7kwh）と最も使用量が多い1月（195.7kwh）との差は123.0kwhでした。



### （2）一家庭当たりの平均電力使用量（kwh）



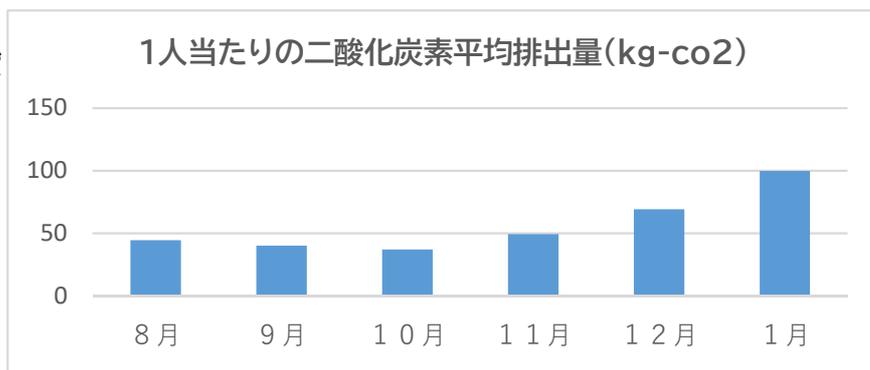
使用した電力の総量を、調査にご協力いただいた各家庭数で割り、一家庭当たりの平均電力使用量を算出したものです。

傾向としては一人当たりの平均電力使用量と同様で、11月から1月にかけて使用量が急激に増加しており、最も使用量が少ない10月（331kwh）と最も使用量が多い1月（891kwh）との差は560kwhでした。

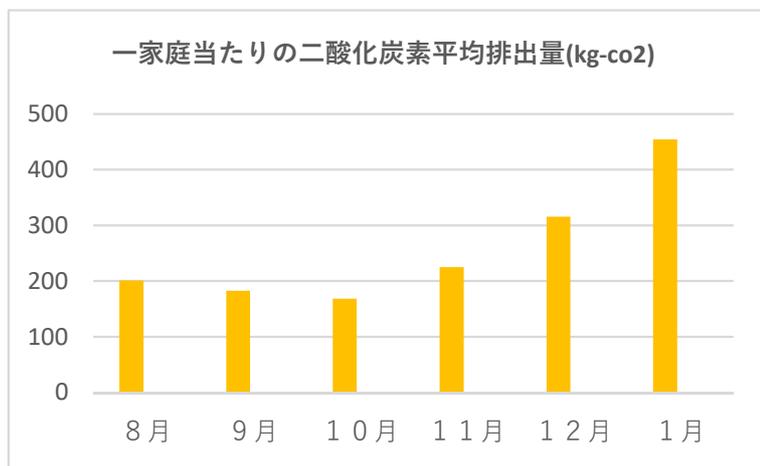
### (3) 一人当たりの二酸化炭素平均排出量 (kg-co2)

各家庭の電気使用量をもとに、一人当たりどれだけの二酸化炭素が出ているかを計算したものです。

傾向としては6月から10月にかけては約40kg-co2で推移していますが、11月から1月にかけて使用量が増加しており、最も使用量が少ない10月(37.08kg-co2)と最も使用量が多い1月(99.80kg-co2)との差は62.72kg-co2でした。



### (4) 一家庭当たりの二酸化炭素平均排出量 (kg-co2)



(3) で算出した二酸化炭素排出量の総量を、調査にご協力いただいた各家庭数で割り、一家庭当たりの二酸化炭素平均排出量を算出したものです。

傾向としては一人当たりの二酸化炭素平均排出量と同様で、11月から1月にかけて排出量が急激に増加しており、最も排出量が少ない10月(168.92kg-co2)と最も排出量が多い1月(454.64kg-co2)との差は285.72kg-co2でした。

### ○全体をふりかえって

上記のグラフからも分かるとおり、気温が低くなる11月から4月にかけては暖房器具を使用する頻度が多くなることから、全国的にも電気使用量が高くなる傾向があります。

昨年は10月上旬まで暑さが続きました。12月、1月も平均気温が零度を下回ることはなかったものの、冬は暖房器具を使用する頻度が多くなることから、全国的にも電気使用量が高くなる傾向があります。これは、冷房器具より暖房器具の使用量のほうが多いということが影響しています。

これらの傾向から、電気使用量・二酸化炭素排出量を減らすためのポイントは、どれだけ冬に省エネができるのかということになります。

各家庭で無理なくできること(日差しを遮断する(緑のカーテン)・暖房器具や冷房器具を使い分ける・季節に合わせ衣服調節の工夫・窓を外気から遮断する工夫・眠るときは湯たんぽで暖を取る・エアコンを適温に設定するなど)を実践することで二酸化炭素排出量を減らしましょう。